2027年3月期第2四半期決算説明資料

2026年11月9日

SRSホールディングス株式会社（東証プライム：8163）

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01	2027年3月期第2四半期 決算概要	3
02	主要業態別業績推移	12
03	主要トピック	15
04	今期の見通し	24
05	補足資料	29

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01	2027年3月期第2四半期 決算概要	3
02	主要業態別業績推移	12
03	主要トピック	15
04	今期の見通し	24
05	補足資料	29

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績ハイライト

売上高

41,694 百万円

前年同期比
+12.0% 増収

営業利益

1,088 百万円

前年同期比
△32.6% 減益

経常利益

1,017 百万円

前年同期比
△36.5% 減益

中間純利益

2,090 百万円

前年同期比
+143.0% 増益

店舗数

グループ店舗数 **958** 店舗

契約済含む直営出店数 **24** 店舗

<直営出店年間目標>
40店舗（進捗率 60.0%）*1

業績概要

- **売上高は**、天候不順の日が多く既存店客数が伸び悩んだ一方、 M&A・新規出店・客単価上昇が寄与し**前年同期を上回った**
- **営業利益、経常利益は**、人件費等のコスト増加を増収効果で吸収しきれず、**前年同期を下回った**。ただし、減益率は１Qから縮小
- **親会社株主に帰属する中間純利益は、**株式会社京樽の子会社化に伴う負ののれん発生益により、**前年同期を大幅に上回る**
- **グループ店舗数は**、株式会社京樽の子会社化で172店舗を追加し、**958店舗と大きく増加**

*1　出店進捗率には、契約済店舗数を含む

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結PL（前年同期比）

- M&Aに伴う店舗数の増加を主因に、売上高は前年同期比12.0%増
- 天候不順等の影響で既存店売上高が当初予想を下回り、人件費等の販管費増加を吸収できなかったことから、営業利益率が前年同期を下回り、営業利益・経常利益ともに減益
- 株式会社京樽の取得に伴う負ののれん発生益1,477百万円を計上し、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,230百万円増

（単位　百万円）

	26/3期2Q		27/3期2Q		前年同期比		計画進捗率 *2	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	増減率	通期計画	進捗率
売上高	**37,212**	**–**	**41,694**	**–**	**+4,481**	**+12.0%**	**94,300**	**44.2%**
売上原価	12,671	34.1%	14,384	34.5%	+1,712	+13.5%	–	–
売上総利益	**24,540**	**65.9%**	**27,309**	**65.5%**	**+2,768**	**+11.3%**	**–**	**–**
販管費	22,927	61.6%	26,221	62.9%	+3,294	+14.4%	–	–
営業利益	**1,613**	**4.3%**	**1,088**	**2.6%**	**△525**	**△32.6%**	**2,600**	**41.8%**
経常利益	**1,600**	**4.3%**	**1,017**	**2.4%**	**△583**	**△36.5%**	**2,400**	**42.4%**
特別利益	0	0.0%	1,491	3.6%	+1,490	–	–	–
特別損失	20	0.1%	15	0.0%	△4	△24.2%	–	–
親会社に帰属する中間純利益	**860**	**2.3%**	**2,090**	**5.0%**	**+1,230**	**+143.0%**	**2,500**	**83.6%**

*2　通期計画および進捗率は、 27/３期連結業績予想の修正を反映したもの
連結業績予想の修正については当資料P25ご参照

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結BS

- 流動資産の減少：売掛金は増加したものの、現金および現金同等物の減少が上回る
- 固定資産の増加：株式会社京樽のM&Aに伴う取得資産（建物、土地等）の計上を主因に増加したもの
- 流動負債の増加：主に株式会社京樽のM&Aに伴う増加によるもの
- 固定負債の増加：主にM&A資金の借入等により増加したもの
- 京樽のM＆Aを主因に総資産は増加。自己資本比率は微減

（単位　百万円）

	26/3期	27/3期2Q末	増減額
資産合計	**47,145**	**53,757**	**+6,612**
流動資産	19,319	18,378	△940
（うち、現金および現金同等物）	13,287	10,884	△2,402
固定資産	27,742	35,309	+7,567
繰延資産合計	83	69	△14
負債純資産合計	**47,145**	**53,757**	**+6,612**
負債合計	**28,704**	**33,478**	**+4,774**
（うち、有利子負債）	12,261	14,137	+1,876
流動負債	12,060	14,448	+2,388
固定負債	16,643	19,030	+2,386
純資産合計	**18,441**	**20,278**	**+1,837**
自己資本比率	**37.8%**	**36.6%**	**△1.3%**

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結CF

- 営業活動によるキャッシュフローの減少：主に税金等調整前中間純利益（負ののれん発生益控除後）の減少
- 投資活動によるキャッシュフローの減少：主にM&Aでの株式取得、固定資産の取得等によるもの
- 財務活動によるキャッシュフローの増加：主に長期借入金の増加によるもの

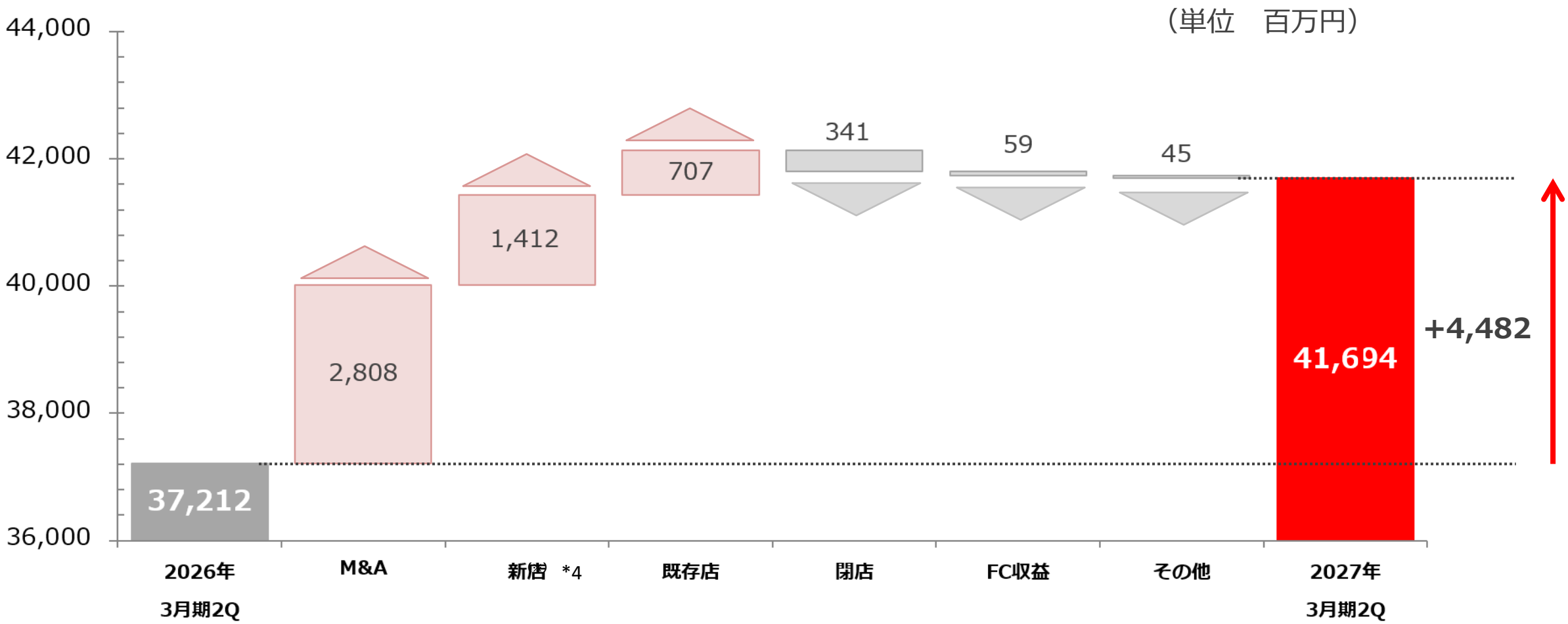
（単位　百万円）

	26/3期2Q末	27/3期2Q末	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	2,014	1,401	△612
投資活動によるキャッシュフロー	△1,669	△5,193	△3,523
財務活動によるキャッシュフロー	△1,766	1,388	+3,154
現金および現金同等物の期末残高	11,147	10,884	△263

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結売上高前年差異分析

- 売上高は、前期および今期に実施したM&A（すし弁慶、京樽）と新店、既存店で増加 *3
- 2Qの新規出店は国内10店舗（うち直営6店舗）、海外5店舗、閉店12店舗（うち直営1店舗）

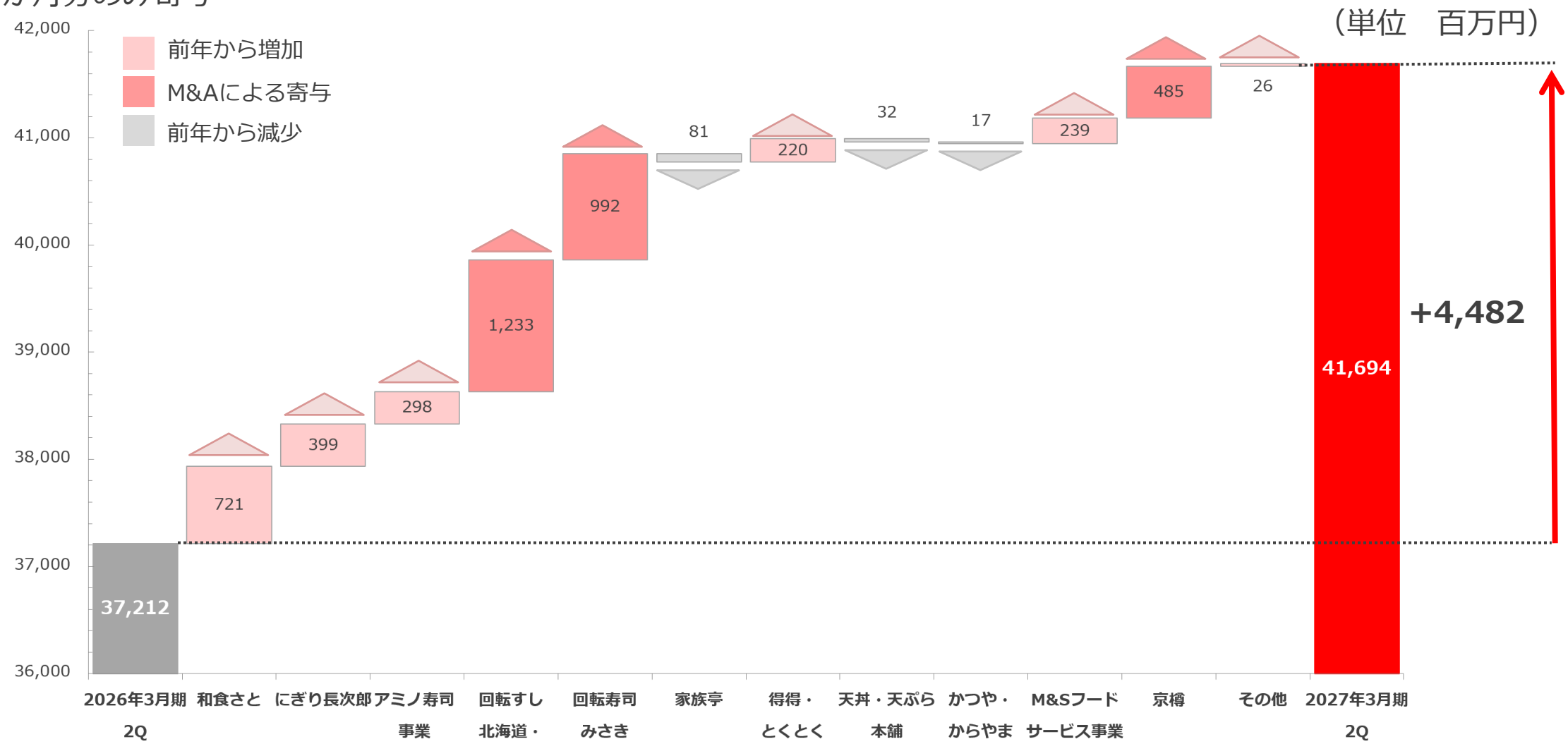


*3　株式会社京樽は2026年9月実績（1か月分）のみ計上
*4　新店 = 27/3期 期初時点で開店後15ヶ月未経過店舗

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結売上高事業別前年差異分析

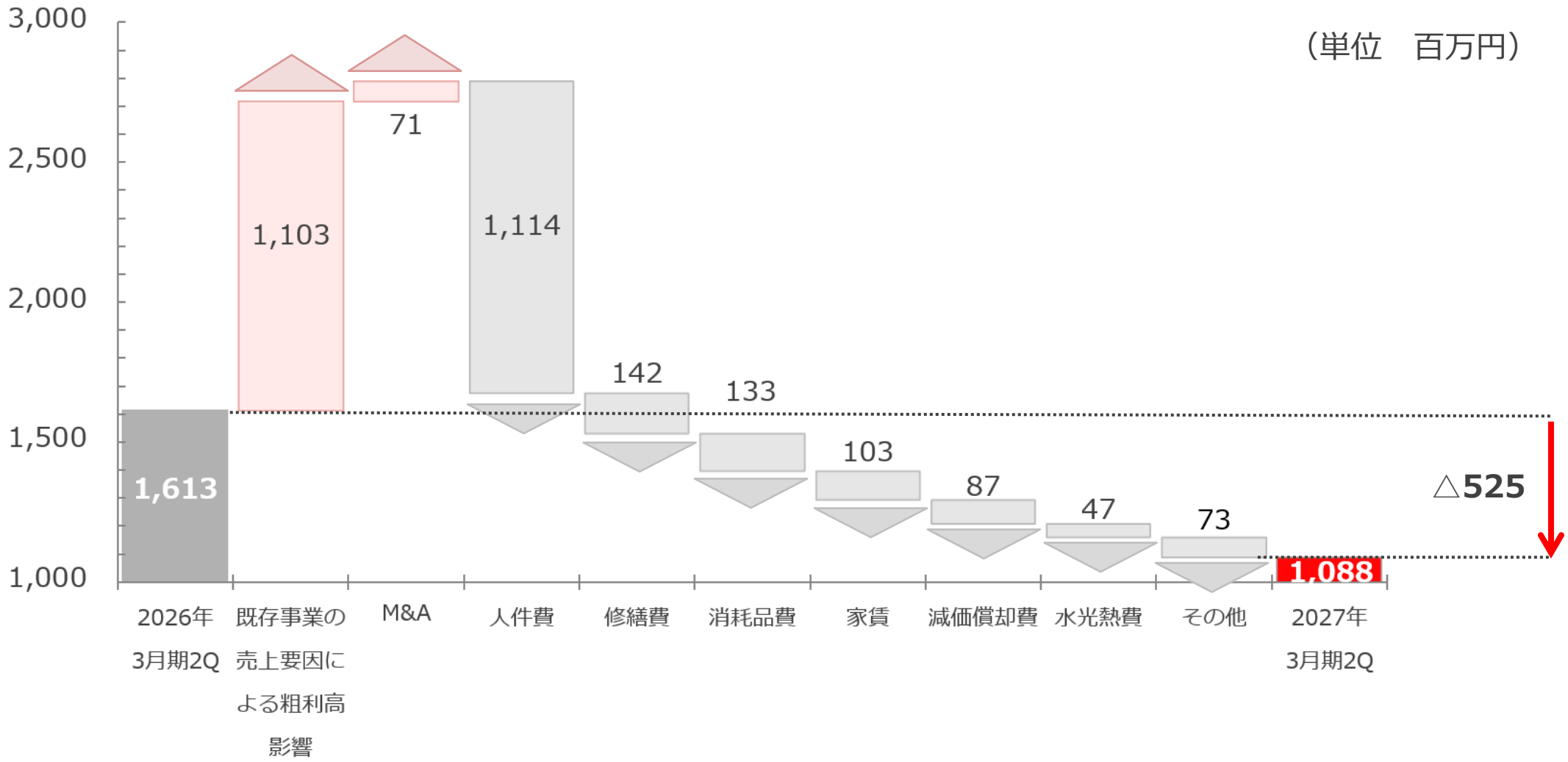
- 和食さと、グルメ寿司（にぎり長次郎、アミノ寿司）はいずれも前年同期を上回る
- 前期にM&Aを実施した「回転すし北海道・すし弁慶」は通期で、今期M&Aを実施した「回転寿司みさき」「京樽」は1か月分のみ寄与



© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 連結営業利益前年差異分析

■ 既存事業の売上総利益の増加やM&Aによる利益貢献等はあったものの、人件費をはじめとする販管費の増加を吸収しきれず



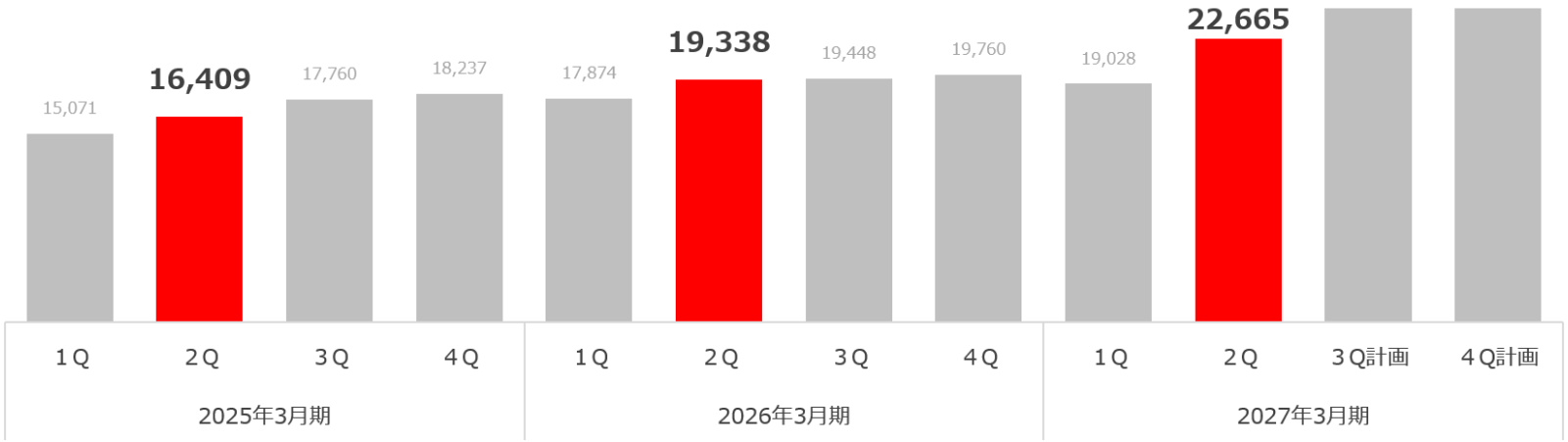
© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 四半期別業績推移

- お盆や夏休み、シルバーウィークのある2Qは、和食さとやグルメ寿司など繁忙期に強い業態が売上高を伸ばしたことに加え、株式会社京樽の9月実績計上もあり、売上高は前年同期を上回る
- 上半期における天候不順等の影響により売上高の伸びが想定を下回り、各種コストの増加を増収効果で吸収しきれず、経常利益は前年同期を下回る

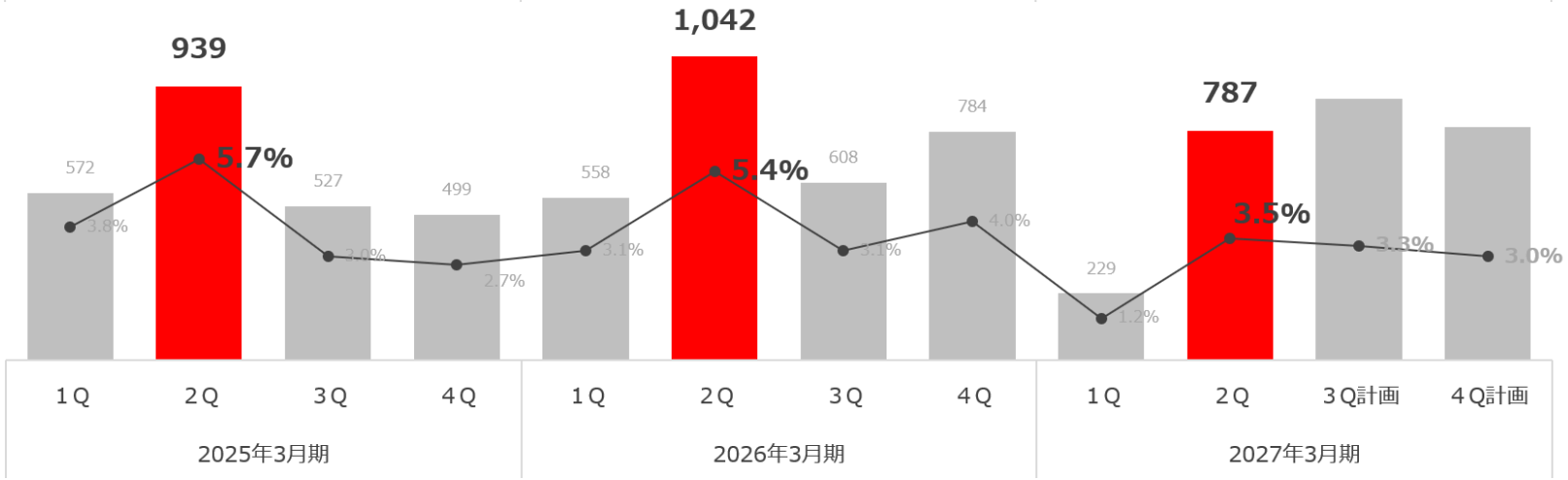
■ 売上高 *5

（単位　百万円）



■ 経常利益 *5
経常利益率

（単位　百万円）



*5　2027年3月期3Q計画、4Q計画は**連結業績**予想の修正を反映したもの
連結業績予想の修正については当資料P25ご参照

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01 2027年3月期第2四半期 決算概要 3

02 主要業態別業績推移 12

03 主要トピック 15

04 今期の見通し 24

05 補足資料 29

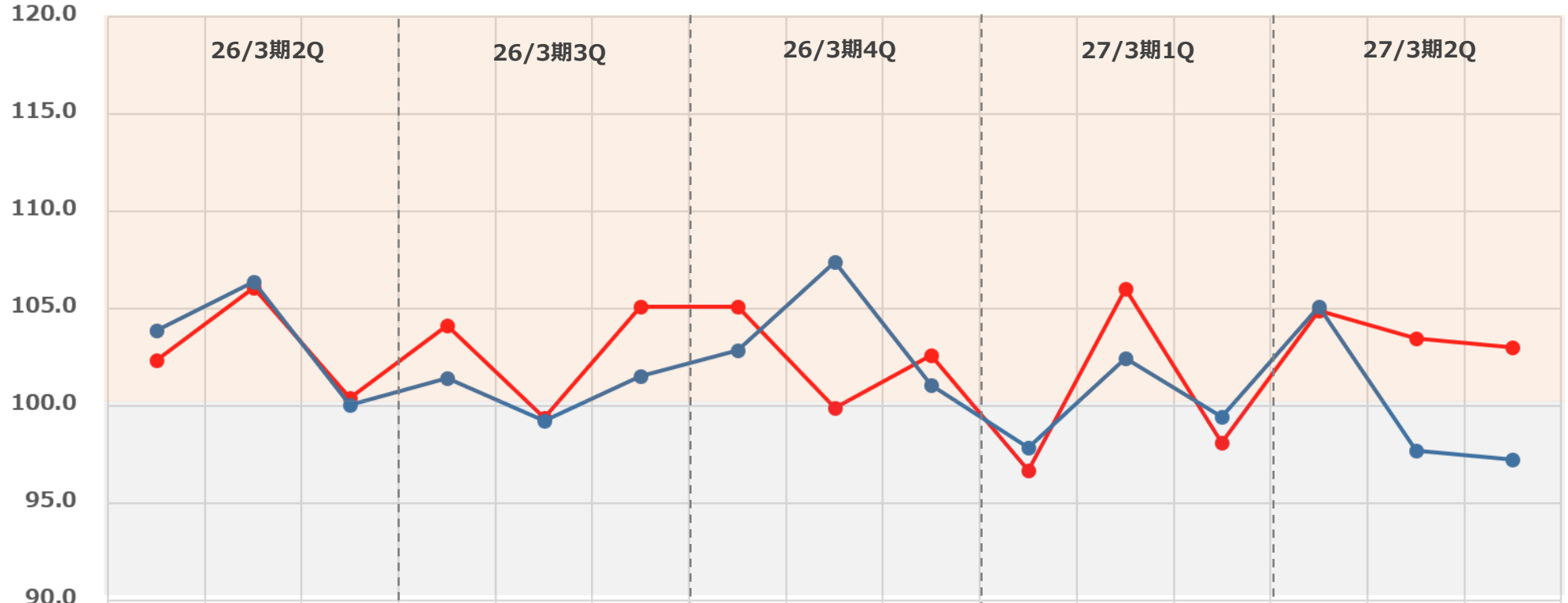
© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 主要業態別既存店業績推移

- 「和食さと」は7月・8月ともに前年比105%程度と好調に推移。9月は降雨日数が多かったものの、103%程度と前年を上回る水準を維持
- 「にぎり長次郎」は、 7月は25周年キャンペーン等の販促施策が奏功し売上高が増加。一方、8月・9月は前年を下回る水準で推移

主要2業態の既存店売上高前年比（曜日特性修正後）

（単位　%）



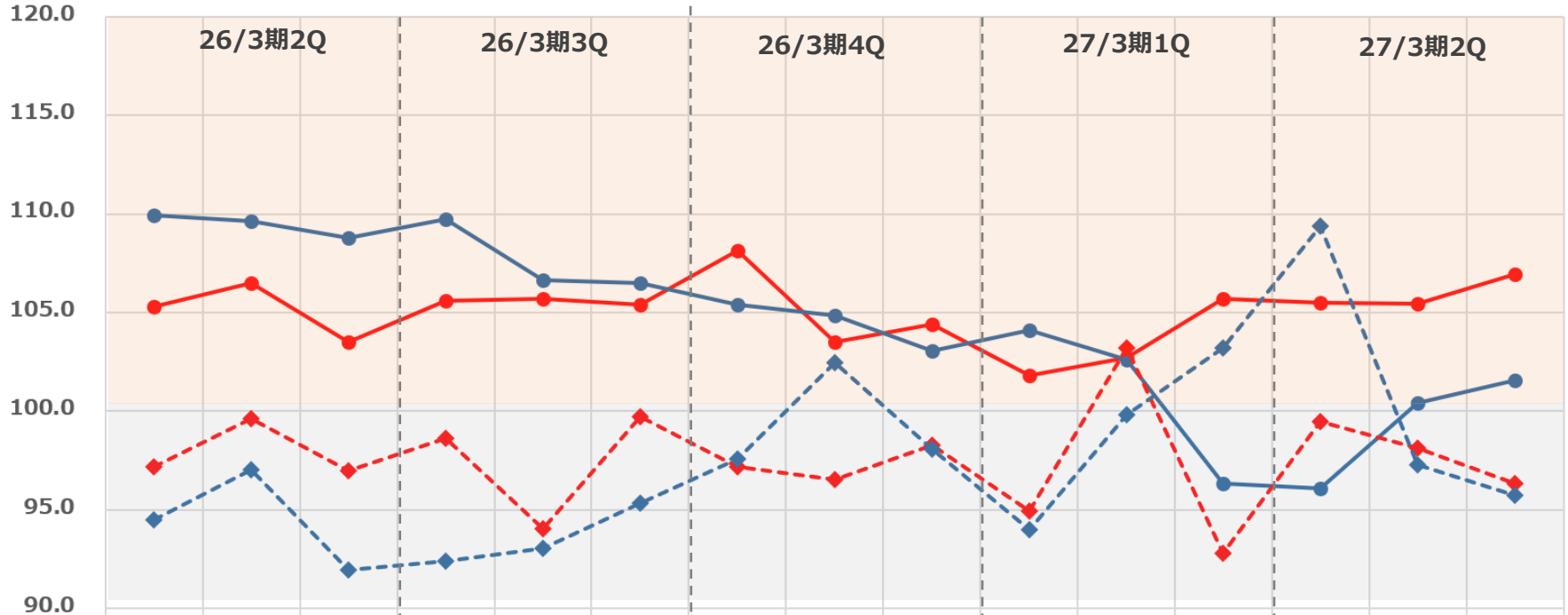
	25年7月	25年8月	25年9月	25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月	26年4月	26年5月	26年6月	26年7月	26年8月	26年9月
和食さと	102.3	106.1	100.4	104.1	99.4	105.1	105.1	99.9	102.6	96.7	106.0	98.1	104.9	103.5	103.0
にぎり長次郎	103.9	106.4	100.0	101.4	99.2	101.5	102.8	107.4	101.0	97.8	102.4	99.4	105.1	97.7	97.2

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 主要業態別既存店業績推移

- 「和食さと」はメニュー施策により客単価は前年を5%超で推移。一方、客数は営業時間の延長や「ナイト割」の実施による押し上げ効果があったものの、メニュー価格改定の影響もあり、前年同期を下回った
- 「にぎり長次郎」は、7月はテレビCM放映や25周年感謝祭等の販促施策が奏功し、客数が大幅に増加。一方、8月・9月は7月の販促施策による反動や天候の影響で、客数は前年同期を下回った

主要2業態の既存店客数・客単価前年比（曜日特性修正後）（単位　%）



	25年7月	25年8月	25年9月	25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月	26年4月	26年5月	26年6月	26年7月	26年8月	26年9月
客単価 (和食さと)	105.3	106.5	103.5	105.6	105.7	105.4	108.2	103.5	104.4	101.8	102.7	105.7	105.5	105.4	106.9
客単価 (にぎり長次郎)	109.9	109.6	108.8	109.7	106.6	106.5	105.4	104.8	103.0	104.1	102.6	96.3	96.1	100.4	101.6
客数 (和食さと)	97.2	99.6	97.0	98.6	94.0	99.7	97.2	96.6	98.3	95.0	103.2	92.8	99.4	98.2	96.3
客数 (にぎり長次郎)	94.5	97.1	91.9	92.4	93.1	95.3	97.6	102.4	98.1	94.0	99.8	103.2	109.4	97.3	95.7

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01 2027年3月期第2四半期 決算概要 3

02 主要業態別業績推移 12

03 主要トピック 15

04 今期の見通し 24

05 補足資料 29

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

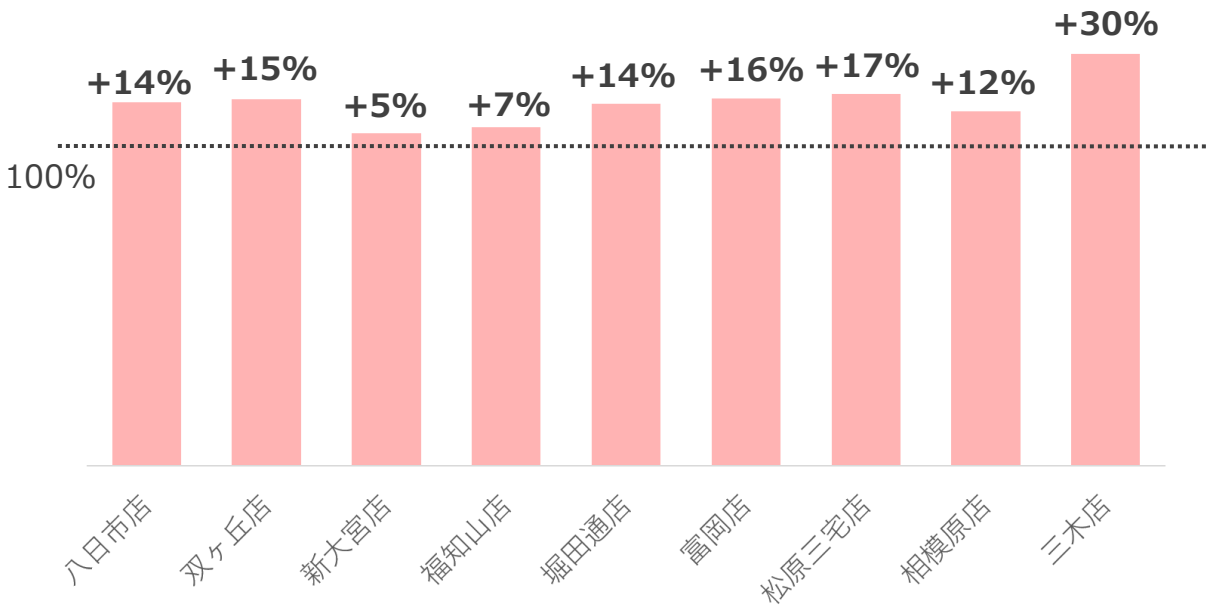
「和食さと」改装店舗、21時以降の販売好調

■ 中期経営計画の重点戦略の1つである「和食さと」のナショナルブランド化に向けて、新商圏（岡山県、広島県）の店舗は引き続き販売好調。既存店も含めた顧客体験向上も進展しており、下期はさらなる客数増加に取り組む

1Q、2Q改装店舗の販売好調

■ 顧客体験のさらなる向上を図るべく既存店の改装を強化
■ 上半期の改装店舗はいずれも好調な売上で推移

改装後4週間の売上（前年比）

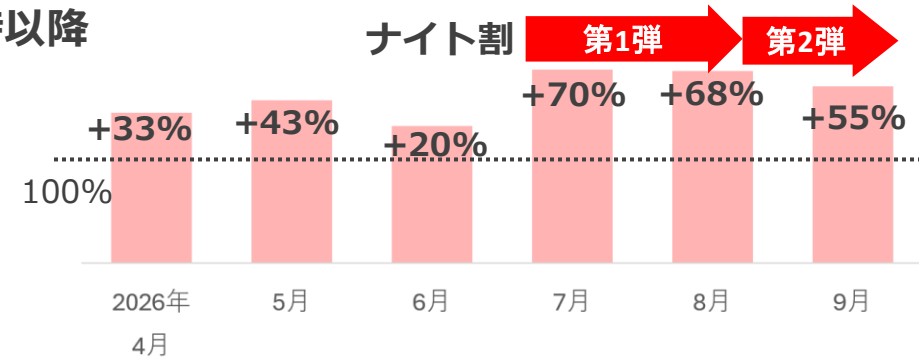


ナイト時間帯の客数増加

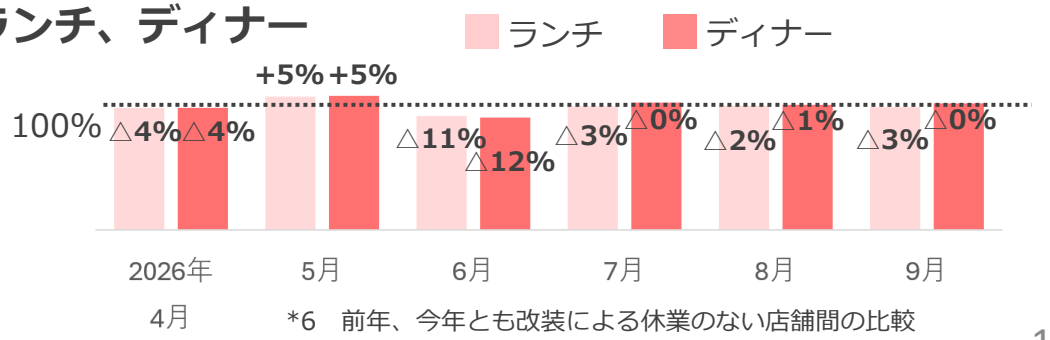
■ 2026年3月からの営業時間延長に加え、7月から「ナイト割」実施により、21時以降の客数が大幅に伸長
■ ランチ、ディナーも7月以降の売上は前年を上回るものの天候不順等で客数が伸び悩み、下期の取り組み課題

時間帯別の客数（前年比）*6

(1)21時以降



(2)ランチ、ディナー



*6　前年、今年とも改装による休業のない店舗間の比較

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

グルメ寿司「にぎり長次郎」「うまい鮨勘」の進展

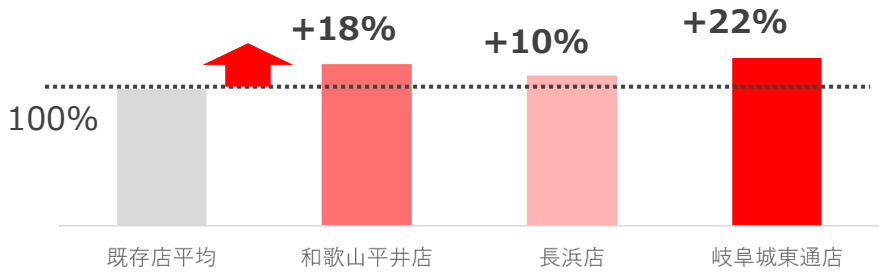
■ 「グルメ寿司圧倒的No.1の実現」を目指して客数の増加、新商圏でのブランド定着に向けて取り組み中

にぎり長次郎

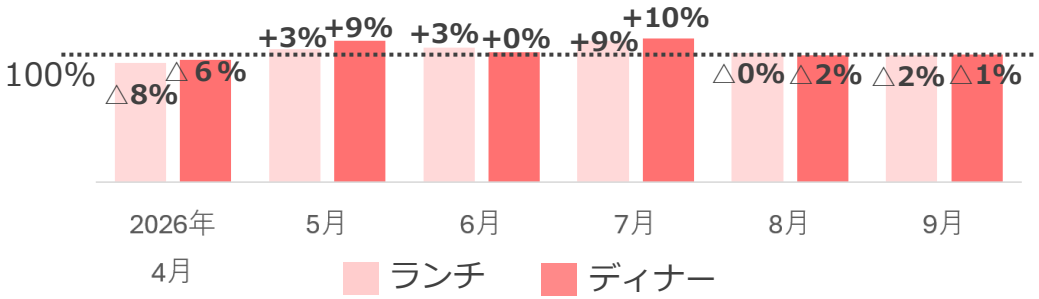
■ 2026年3月以降にオープンした新店3店舗は、いずれもいけすを既存店比2倍にし、特急レーンを導入し顧客体験向上を図る新型店舗として出店し、2Qも好調に推移

■ 客数はキャンペーン効果とディナー時間帯が牽引。ランチの客数獲得は今後の取り組み課題

2Qにおける月あたり売上（既存店平均=100）



ランチ・ディナー時間帯別の客数（前年比）

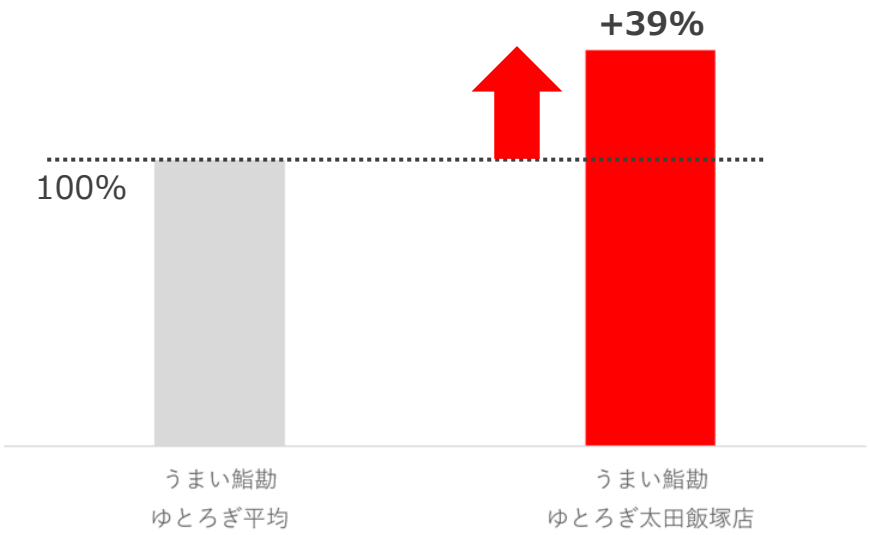


うまい鮨勘

■ 2026年9月に、群馬県で2店舗目となる「ゆとろぎ太田飯塚店」をオープン。好調なスタートを切っている

■ 2026年12月に群馬県で3店舗目の出店を計画。群馬県でドミナントを形成することで、新商圏でのブランド確立と県内各店の販売強化を図る

太田飯塚店2026年9月18日～30日売上（既存店平均=100）



© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

株式会社京樽の子会社化で事業成長と中計達成を加速

株式会社京樽の概要

所在地

本社：東京都中央区日本橋人形町二丁目７番５号
工場：千葉県船橋市高瀬町24-10

代表者

代表取締役執行役員社長 岩田 倫尚 *7

創業

1932年

売上収益

2025年9月期実績　23,532百万円 *8

主な事業内容

飲食店の経営
・グルメ寿司事業（回転寿司みさき）　84店舗 *9
・テイクアウト事業（京樽）　88店舗 *9
・外商事業、その他事業

*7　2026年9月1日に就任
*8　IFRS基準
*9　2026年9月末時点の店舗数

M&Aのストラクチャーとスケジュール

M&Aのストラクチャー概要

＜株式譲渡前の実行＞
・株式譲渡実行日までに、株式会社FOOD & LIFE COMPANIESが株式会社京樽の第三者割当増資（6,480百万円）を引き受け、債務超過を解消

＜株式譲渡内容＞
・株式会社京樽の全株式（議決権割合の100.0%）を当社が3,693百万円で取得

本件M&Aの実行スケジュール

契約締結日	2026年8月7日
株式譲渡実行日	2026年9月1日

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

株式会社京樽の子会社化で事業成長と中計達成を加速

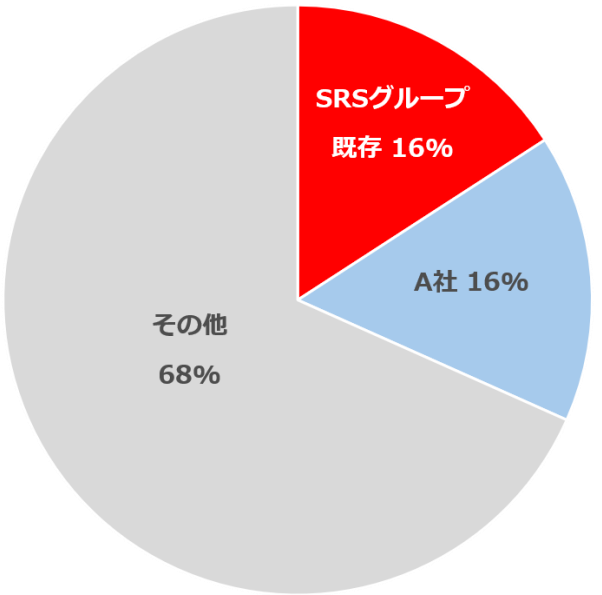
■ 株式会社京樽の子会社化は、「グルメ寿司」「中食事業」「首都圏」の強化、「製造工場の獲得」のいずれも当社の戦略、解決すべき課題に合致。今後シナジー創出を図る

重点戦略「グルメ寿司チェーン圧倒的NO.1」を実現

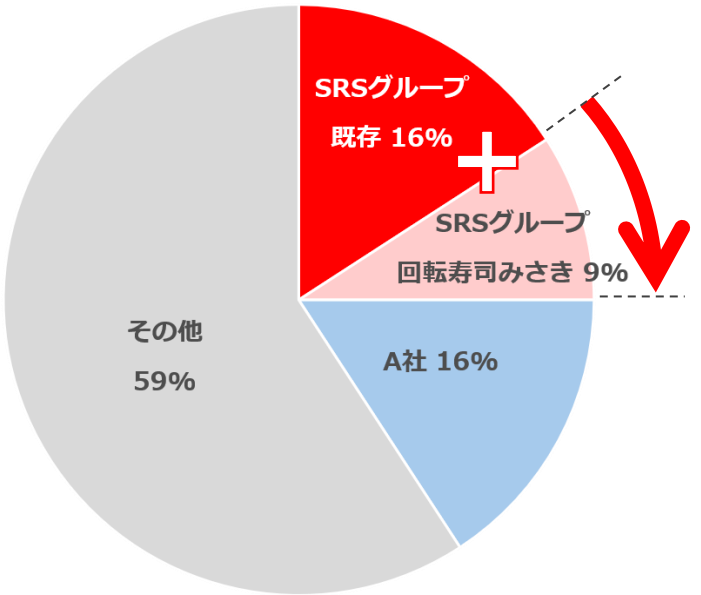
- オーガニックな事業成長とM＆Aの両輪で強化中の「グルメ寿司」で、首都圏中心に展開する「回転寿司みさき」の店舗網、すし職人など人材の獲得を実現
- 立地面では、駅近・商業施設立地への出店可能性が今後拡大
- グルメ寿司市場での圧倒的NO.1実現に向け、トップシェアを一層強固なものとする *10

グルメ寿司市場のシェア変化 *10

M&A前のグルメ寿司シェア



M&A後のグルメ寿司シェア（年間売上を単純合計）



*10　シェアは当社推計

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

株式会社京樽の子会社化で事業成長と中計達成を加速

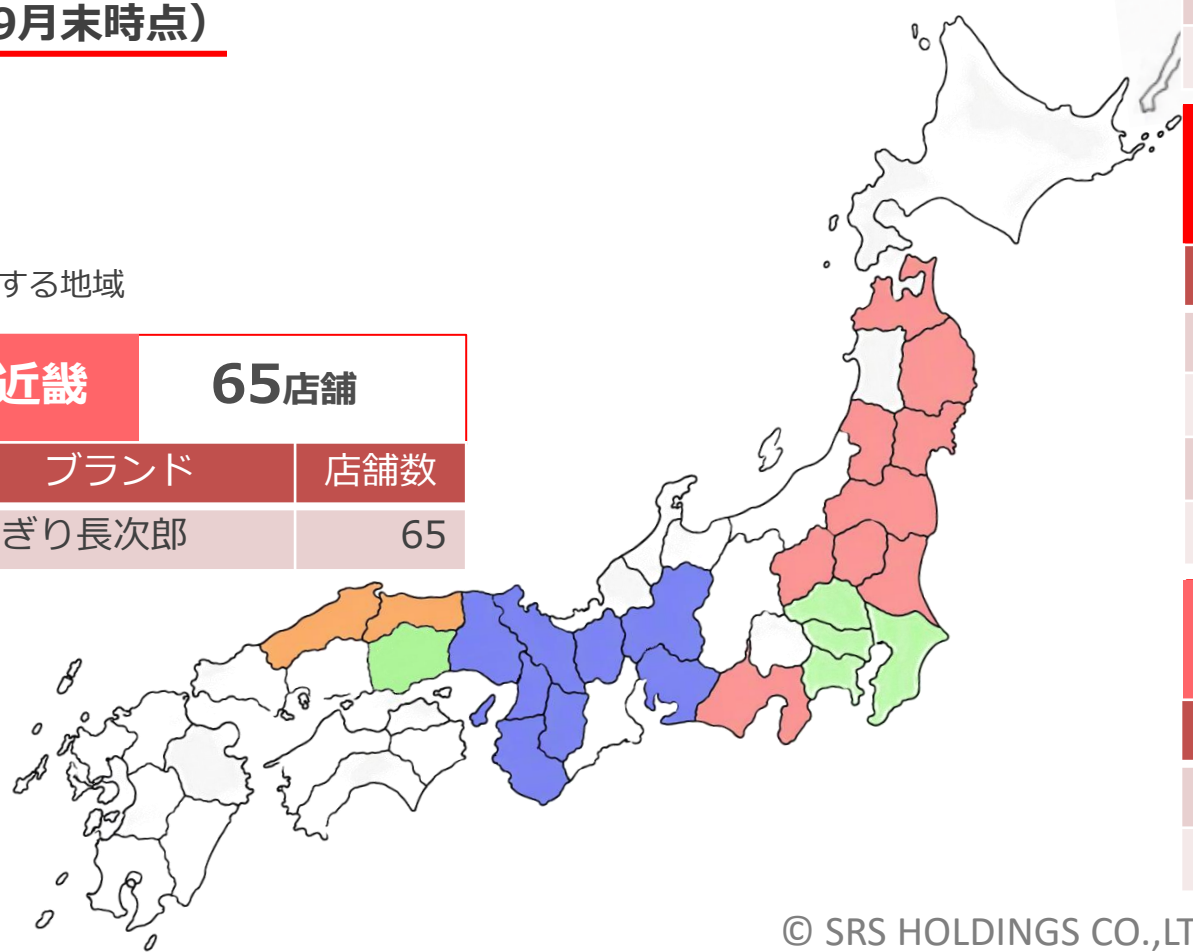
SRS HOLDINGS

重点戦略「グルメ寿司チェーン圧倒的NO.1」を実現

■ SRSグループの既存グルメ寿司ブランドと回転寿司みさきの展開地域は補完し合う

グルメ寿司の店舗数変化（2026年9月末時点）

- 主に「うまい鮨勘」が展開する地域
- 主に「回転寿司みさき」が展開する地域
- 主に「にぎり長次郎」が展開する地域
- 主に「回転すし北海道、すし弁慶」が展開する地域



東北 19店舗 ⇒ 20店舗

ブランド	店舗数
うまい鮨勘	19
回転寿司みさき	1

首都圏 14店舗 ⇒ 97店舗

ブランド	店舗数
うまい鮨勘	9
まるくに	4
にぎり長次郎	2
回転寿司みさき	82

近畿 65店舗

ブランド	店舗数
にぎり長次郎	65

中部・東海 9店舗

ブランド	店舗数
にぎり長次郎	8
うまい鮨勘	1

中四国 6店舗 ⇒ 7店舗

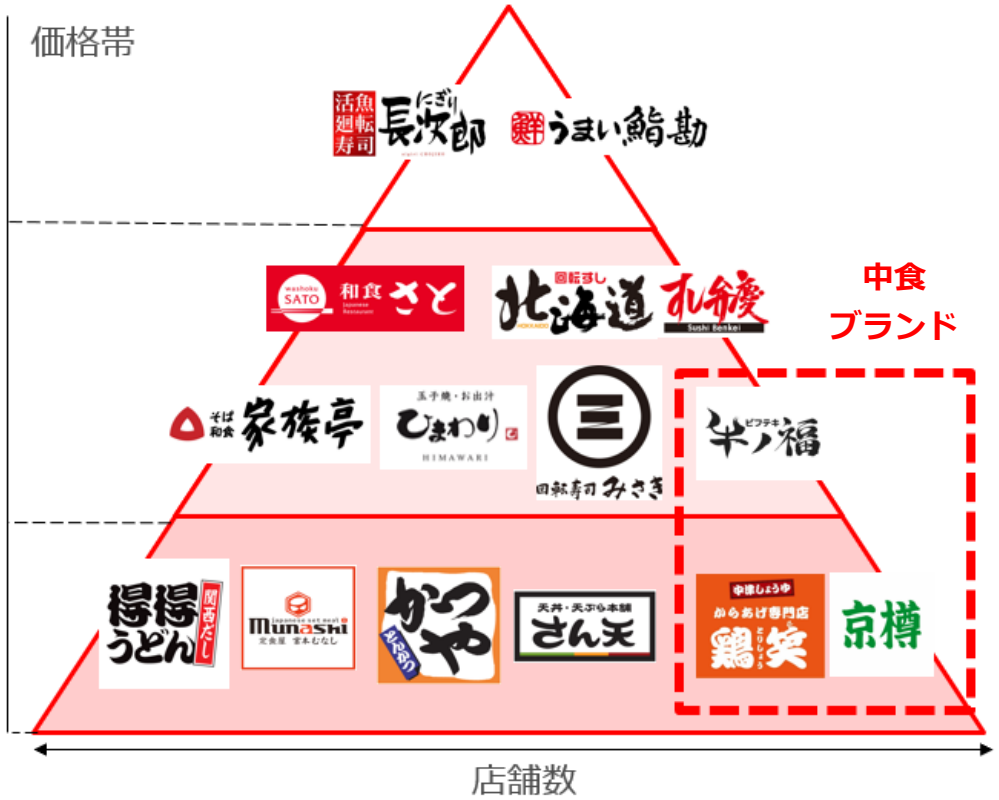
ブランド	店舗数
回転すし北海道・すし弁慶	6
回転寿司みさき	1

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

株式会社京樽の子会社化で事業成長と中計達成を加速

重点戦略「第3、第4の収益の柱」確立に向け中食事業の強化

- 「京樽」の高いブランド力と中食事業ノウハウを、当社の商品開発力や経営ノウハウと融合させ、ブランド価値の一層の向上を図る
- 中食事業を第3、第4の収益の柱の1つとして確立を目指す



製造工場の最大活用と本部機能強化

- 株式会社京樽の製造工場（セントラルキッチン）は、当社グループ内で最大の生産拠点となる
- 当社グループ向けに製造機能の拡充や最大限の活用に向けた検討を開始
- 今後、M&A後のグループ統合を進めるとともに、事業規模拡大を支える本部機能強化を加速

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

DXによるグループ機能強化を推進

■ DXにより売上高1,000億円を支えるグループ機能の強化を図り、既存事業の飛躍的な発展と新たな収益基盤の確立による、和食チェーングループ圧倒的No.1の実現を目指している

DX認定 *11

顧客体験の向上

ご予約からお食事、会計までお客様の利便性を高めるサービスを提供し続けます。アプリやWEBに加え、AIやロボットも活用し、お客様の満足度向上を目指す

全従業員の生産性向上

デジタル化可能な業務の自動化や可視化を行い、生まれたリソースをさらに生産性向上の推進にあて、人材教育にも注力し、結果、お客様への質を向上させる

グループ共通基盤の構築

クラウド化・ツール一元化により、経営データを一元管理し、グループのコストを削減。災害にもたえうる企業を目指し、結果、食のインフラとして持続可能である企業を目指す



*11　当社は、経済産業省が定めるDX認定制度の「DX認定事業者」として2026年1月に認定

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 業態別出店計画進捗率

- 「和食さと」、グルメ寿司の「にぎり長次郎」は今期出店計画の契約を完了
- 株式会社京樽の「回転寿司みさき」「京樽」の店舗がグループ入り

		26/3期末 店舗数	27/3期 M&Aによる増減	27/3期 出店実績	27/3期 閉店実績	当第２四半期 連結会計期間末	27/3期 出店計画	27/3期 契約済店舗数	27/3期 出店進捗率 *12
レストラン店舗数（国内）		**614（70）**	**84（－）**	**11（1）**	**2（1）**	**707（70）**	**40**	**15**	**65.0%**
和食ファミレス	和食さと	201（－）	－（－）	**1（－）**	－（－）	202（－）	5	4	100.0%
グルメ寿司	にぎり長次郎・CHOJIRO	73（－）	－（－）	**2（－）**	－（－）	75（－）	5	3	100.0%
	回転寿司みさき ※1	－（－）	84（－）	**－（－）**	－（－）	84（－）	－	0	－
	アミノ寿司業態(うまい鮨勘など) ※1	33（－）	－（－）	**1（－）**	－（－）	34（－）	3	1	66.7%
	回転すし北海道・すし弁慶	6（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	6（－）	1	0	0.0%
そば・うどん	家族亭 ※1	59（7）	－（－）	**－（－）**	2（1）	57（6）	2	1	50.0%
	得得 ※1	59（43）	－（－）	**3（－）**	－（－）	62（43）	5	1	80.0%
丼・定食・その他	かつや	52（18）	－（－）	**3（1）**	－（－）	55（19）	8	2	50.0%
	天丼・天ぷら本舗 さん天	35（1）	－（－）	**－（－）**	－（－）	35（1）	2	1	50.0%
	定食屋 宮本むなし	24（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	24（－）	0	0	－
	からやま	12（－）	－（－）	**1（－）**	－（－）	13（－）	2	0	50.0%
	玉子焼・お出汁ひまわり	8（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	8（－）	2	1	50.0%
	ビフテキ牛ノ福（レストラン）	5（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	5（－）	0	0	－
	M&S　FC事業　※2	35（1）	－（－）	**－（－）**	－（－）	35（1）	5	1	20.0%
	その他　※3	12（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	12（－）	0	0	－
レストラン店舗数（海外）		**23（23）**	**－（－）**	**8（8）**	**2（2）**	**29（29）**	**0**	**1**	**－**
海外	海外店舗	23（23）	－（－）	**8（8）**	2（2）	29（29）	0	1	－
中食店舗数		**143（131）**	**88（－）**	**4（4）**	**13（13）**	**222（122）**	**33**	**2**	**18.2%**
中食	鶏笑	131（130）	－（－）	**4（4）**	13（13）	122（121）	30	2	20.0%
	京樽 ※1	－（－）	88（－）	**－（－）**	－（－）	88（－）	－	0	－
	宅配寿司業態	9（1）	－（－）	**－（－）**	－（－）	9（1）	0	0	－
	ビフテキ牛ノ福（中食）	3（－）	－（－）	**－（－）**	－（－）	3（－）	3	0	0.0%
グループ店舗数	**グループ計**	**780（224）**	**172（－）**	**23（13）**	**17（16）**	**958（221）**	**73**	**18**	**56.2%**
	グループ計（直営のみ）	**556（－）**	**172（－）**	**10（－）**	**1（－）**	**737（－）**	**40**	**14**	**60.0%**

※1：複数ブランドを含む
※2：ポポラマーマ、ミスタードーナツ、ドトールコーヒー、大釜屋、しんぱち食堂
※3：とくとくサービスエリア事業は、その他業態に含む

（　）内はFC・のれん分け及び合弁事業店舗数
*12　出店進捗率には、契約済店舗数を含む

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01 2027年3月期第2四半期 決算概要 3

02 主要業態別業績推移 12

03 主要トピック 15

04 今期の見通し 24

05 補足資料 29

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 事業計画（変更あり）

- 株式会社京樽の全株式を取得し、子会社化したことに伴い売上高は当初予想を上回る見込み
- 上半期における天候不順等の影響により既存事業の売上高が当初予想を下回り、各種コストの増加を吸収しきれず、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見込み
- 株式会社京樽の子会社化に伴う負ののれん発生益1,477百万円を特別利益として計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回る見込み *12
- 1株あたりの配当金は通期10.0円（変更なし）。当社は連結配当性向20%以上とする基本方針であるものの、負ののれん発生益は連結会計処理上の利益であり、現時点では配当原資には含めない予定

	26/3期実績	**27/3期計画**	**27/3期計画（今回修正）**	修正計画差	対計画増減率
売上高	76,421	**83,000**	**94,300**	+11,300	+13.6%
営業利益	3,051	**3,200**	**2,600**	△600	△18.8%
経常利益	2,994	**3,000**	**2,400**	△600	△20.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,694	**1,800**	**2,500**	+700	+38.9%

（単位　百万円）

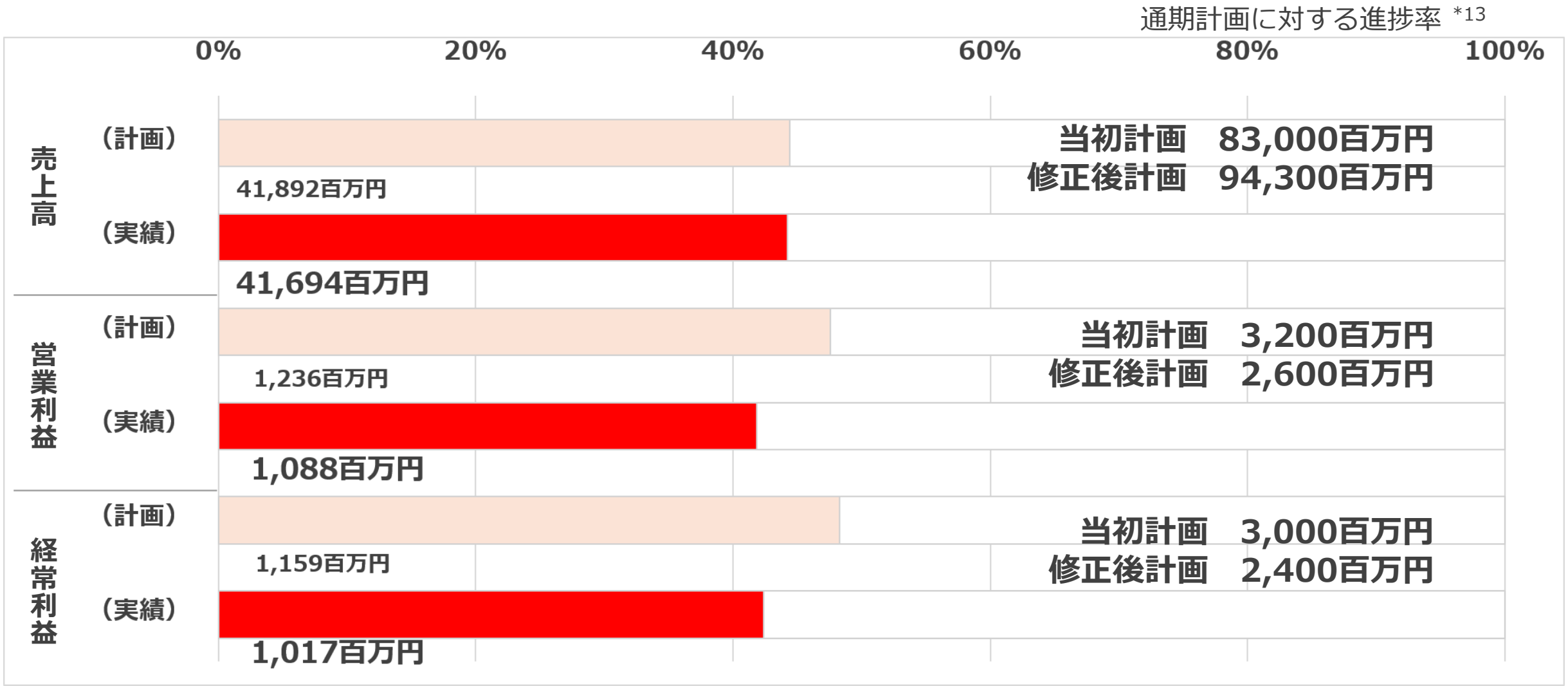
	26/3期（通期）	27/3期予想（通期）
1株当たり配当金	10.0円	10.0円

*12　負ののれん発生益の金額は、取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定された金額であり、今後変動する可能性がある

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期2Q 計画に対する業績進捗率

- 売上高は2Q計画を上回って進捗
- 営業利益、経常利益とも1Qから減益幅を縮小



*13　上記グラフの進捗率は、27/3期連結業績予想の修正後計画に対するもの
連結業績予想の修正については当資料P25ご参照

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

配当実績ならびに配当予想

配当実績ならびに配当予想

- 原則、**連結配当性向20%以上を目安に配当を決定することを基本方針**とし、持続的な企業価値向上を目指し業績の状況や今後の成長投資の必要性を踏まえながら柔軟な配当政策を推進
- 当社は連結配当性向20%以上とする基本方針であるものの、負ののれん発生益は連結会計処理上の利益であり、現時点では配当原資には含めない予定

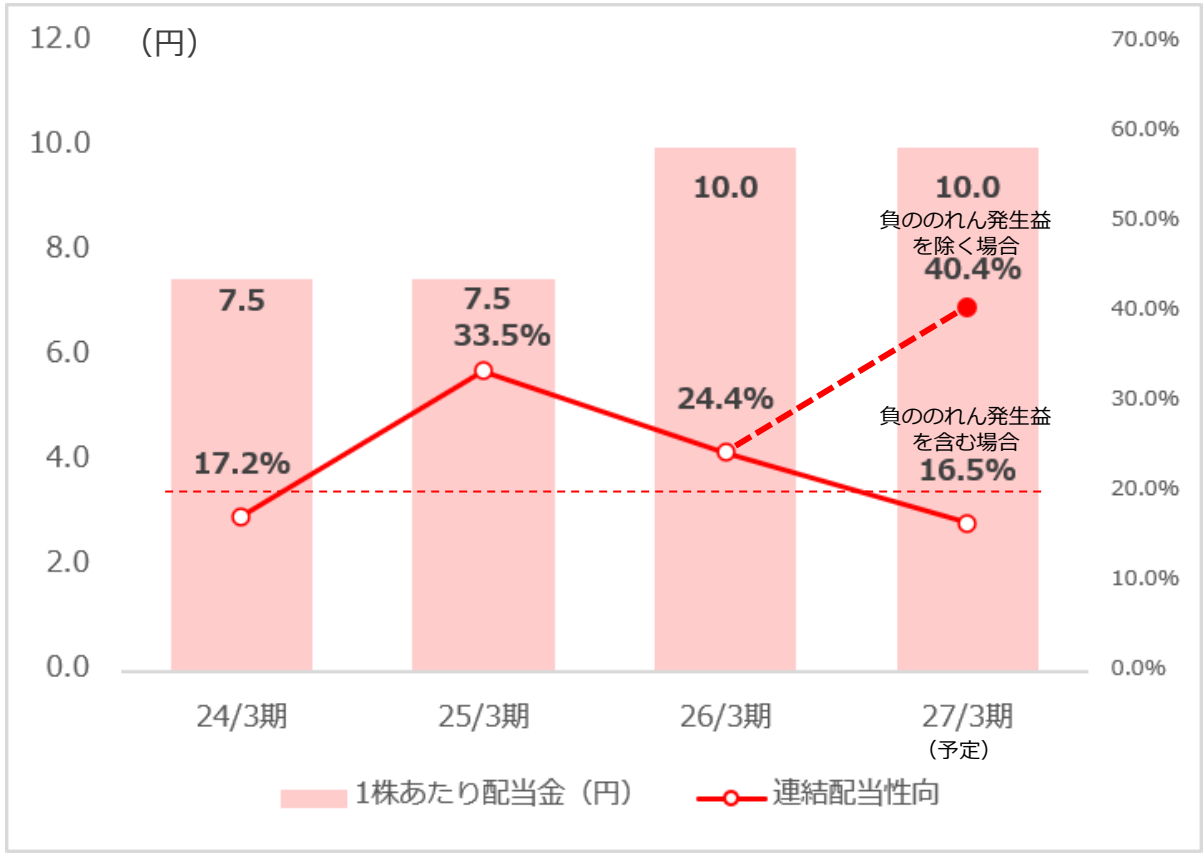
26/3期の1株当たり配当金

年額　10.0円

27/3期の1株当たり配当金

年額 10.0円（予定）

1株あたり配当金と連結配当性向推移



© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

株主還元

■株主優待対象を100株～に引き下げたことに加え、1000株以上、2000株以上も拡充し、さらなる事業理解と投資魅力向上を図る
■新たに**「回転寿司みさき」　「京樽」**の各店舗においても株主優待券利用を可能とする *14



【所有株式数に応じた株主優待券贈呈額】
2026年9月末日時点の当社株主名簿に記載又は記録された株主様より、以下の新しい制度、利用可能店舗を適用

所有株式数	最新優待内容 *15
100株以上、500株未満	年間 2,000円相当（500円×　4枚）の株主優待券
500株以上、1,000株未満	年間12,000円相当（500円× 24枚）の株主優待券
1,000株以上、2,000株未満	年間26,000円相当（500円× 52枚）の株主優待券
2,000株以上	年間54,000円相当（500円×108枚）の株主優待券

【主な利用可能業態】

和食 さと　活魚廻転寿司 長次郎　天丼・天ぷら本舗 さん天　法善寺 夫婦善哉　うまい鮨勘　回転すし 北海道　すし 弁慶 Sushi Benkei　そば和会 家族亭　得得うどん 関西だし　玉子焼・お出汁 ひまわり HIMAWARI

新たに追加
回転寿司 みさき　京樽

※株主優待制度の詳細は、当社ホームページをご参照　https://srsholdings.com/pages/ir-shareholder-program/

*14　株式会社京樽が運営する複数業態を含む。競馬場内の店舗および京樽・すし三崎港柏高島屋店は株主優待券利用の対象外
*15　いずれも半年ごとに贈呈

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

01	2027年3月期第2四半期 決算概要	3
02	主要業態別業績推移	12
03	主要トピック	15
04	今期の見通し	24
05	**補足資料**	**29**

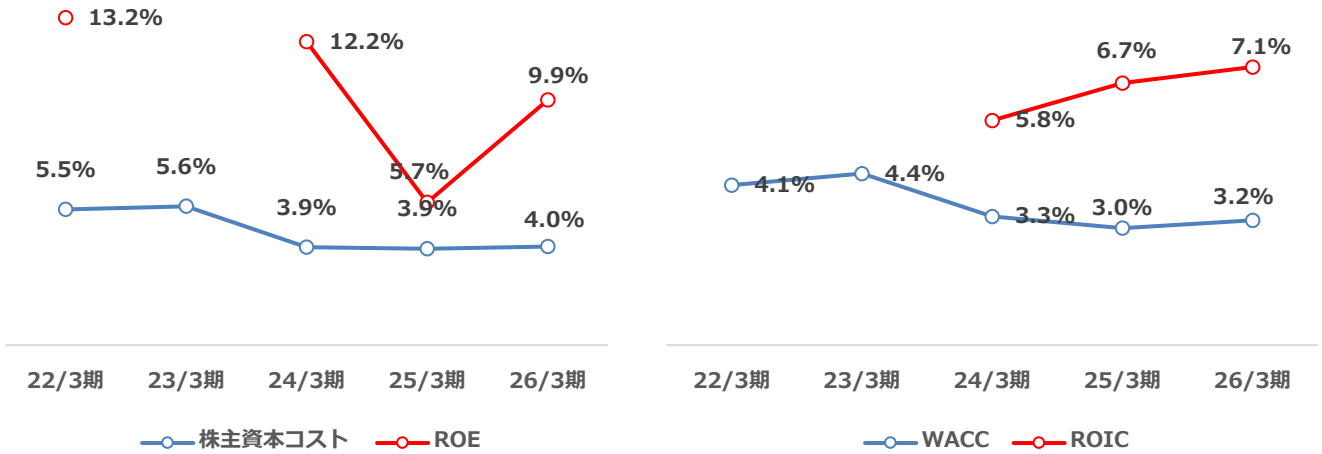
© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

資本コストを意識した経営の取組み

方針	具体的な取組み	KPI
ROEの向上	• 既存事業の収益性向上 • 適正な株主還元の実施	**ROE8%超**の継続 30/3期目標：**12%超**
ROIC ＞ WACCの徹底	• EBITDA赤字店舗の撲滅と出退店基準の厳格な運用 • ROIの高い設備投資の継続（低賃料の郊外地域への出店、投資回収期間の短い小型業態の出店継続、店舗モデルの見直しによる建築コストの低減）	**ROIC5%超**の継続

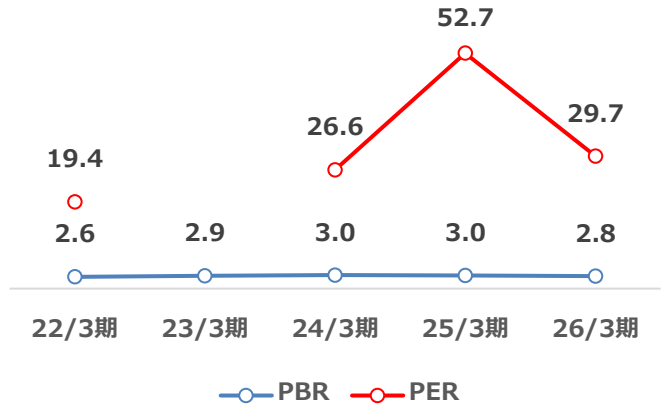
M&Aの連結貢献および既存事業の収益増加によりROEは増加し、株主資本コストとの差は拡大
ROICは微増ながら、ROIC＞WACCの状態は継続
業績に対しての株価連動性が低く、株価が前年より大きく変動しない中で当期純利益が増加したことで、PERについては低下

■資本コストと資本収益性の推移



※23/3期は当期純損失計上によりROEは非表示、22/3期～23/3期は営業損失計上によりROICは非表示

■PERとPBRの推移



※23/3期は当期純損失計上によりPERは非表示

※株主資本コストはCAPMに基づく数式より算出。WACCは株主資本コストと負債コストについて株式時価総額と有利子負債総額の加重平均を取る形で算出

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

2027/3期 2Q決算説明会のご案内

- 当社は、中間期と本決算のタイミングで、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催
- 次回は、中間期の決算説明会を2026年11月25日（水）13時30分～開催予定

＜2027/3期 2Q決算説明会開催情報＞

【日　　時】　2026年11月25日（水）13時30分～14時30分（予定）

【会　　場】　公益社団法人 日本証券アナリスト協会 第2セミナールーム
（〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町3-3　兜町平和ビル2階）

【実施方法】　会場およびライブ配信（ハイブリッド開催）

【対　　象】　機関投資家及びアナリストの皆様

【申込方法】　srsir@srsholdings.com　宛てに下記要領で申し込み
※今回よりメールアドレスが変更となりました
件名：決算説明会視聴希望
本文：(1)貴社名　(2)御芳名　(3)ご希望の参加方法（会場orライブ配信）を記入

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSホールディングスについて【会社概要】

SRSグループの特徴

- “和食”中心の飲食店を国内外に展開
- 関西中心から首都圏、中四国に地域拡大
- 主に直営で郊外中心に店舗展開
- 積極的にM&Aを推進

本社所在地

大阪府大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング30階

上場区分

東証プライム市場上場、TOPIX構成銘柄
<証券コード：8163>

設立年	資本金 2026年3月末時点
1968年	11,077百万円
連結売上高 **2026年3月期**	**グループ店舗数** **2026年9月末時点**
76,421百万円	958店舗
正社員数 **2026年3月末時点**	**PA従業員数** **2026年3月末時点**
1,927人	17,286人

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSホールディングスについて

フィロソフィー

私たちは、食を通じて社会に貢献します。

経営理念

DREAM
夢みる
パートナーと共に、
夢の実現をめざします。

ENJOY
楽しむ
カスタマーと共に楽しさ
を分かち合います。

LOVE☆
愛する
コミュニティーを愛し、
人びとと共に生きます。

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

会社の沿革

社会インフラを目指し、おいしさを追求し続け、多彩な和食を提供してきた

2026年9月末時点

958店舗

1958—1993
チェーンストア経営への船出

創業者・重里進が始めた大阪・法善寺の小さな寿司店「法善寺すし半」から当社の歴史は始まりました。1968年の法人化後、チェーンストア理論の権威・渥美俊一氏との出会いが転機に。流通革命の先端理論を学び、業務の標準化やセントラルキッチンの整備を推進。70年代には洋食業態にも挑戦し、関西から全国へと展開。

8坪の店から始まった挑戦が、外食産業の新たな地平を切り拓きました。

1994—2004
洋食事業から撤退し「和食一本」へ

バブル崩壊、阪神・淡路大震災、O-157騒動と危機が続く中、1993年に重里進が急逝。2代目社長に就任した重里欣孝は、不振の洋食事業から完全撤退し、「郊外型和食」に経営資源を集中させるという英断を下します。この選択は単なる事業整理ではなく、社名変更や企業理念、社是・社訓の刷新など、企業の存在意義を問い直すもので、後の成長の土台を築いた“第二の創業”となりました。

2005—2013
構造改革が成長の足がかりに

2000年代は積極的な構造改革で再び成長軌道を描き始めます。2008年には業務改革で13億円ものコスト削減を実現。一方で「さとしゃぶ」という新たな価値提案で市場を驚かせました。積極的な海外進出や、新たに事業開発した「天丼・天ぷら本舗 さん天」やエリアフランチャイズ権を得た「かつや」などのファストカジュアル業態への挑戦も開始。事業の多角化を進め、飛躍への礎を築きました。

2014—2026
和食をもっと身近に世界への挑戦

2014年以降は「和食さと」や、2013年にM&Aによりグループ化した「にぎり長次郎」などを中心に国内外の事業を拡大。和食の可能性を広げるべく、積極的なM&Aを実施して事業ポートフォリオの拡充を進め、多様な和食ブランドを擁する企業グループへと進化を遂げました。

2025年には、さらなる飛躍的な成長を目指して新中期経営計画「SRS VISION2030」を発表しました。

1958
「法善寺すし半」開業



1968
「(株) 尼崎すし半本店」を兵庫県尼崎市に設立
(実質上の存続会社の設立)



1号店である尼崎本店を兵庫県尼崎市に開店

1974
社名を「(株) サト」に変更

RESTAURANT SATO

1978
洋食業態1号店を兵庫県加古川市に開店

1984
株式を大阪証券取引所市場第二部に上場

1985
「和食さと」の原型となる郊外型和食1号店を奈良県橿原市に開店



1989
株式を大阪証券取引所市場第一部に指定上場

1993
低価格郊外和食業態「和食さと」の実験を開始

和食さと

創業社長の重里進が逝去
重里欣孝が社長に就任

1998
社名を「サトレストランシステムズ (株)」に変更

SATO RESTAURANT SYSTEMS

2002
洋食店から和食店への業態転換を完了し和食業態に一本化

2009
キッザニア甲子園に「すし屋」パビリオンを出展



しゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」販売開始



2010
サト・アークランドフードサービス (株) を設立

「かつや」1号店を堺市西区に開店

かつや

2012
「天丼・天ぷら本舗 さん天」1号店を大阪市住吉区に開店

さん天

2013
(株) フーズネットの発行済み株式を100%取得

にぎり長次郎

東証・大証統合により東京証券取引所市場第一部に移行

インドネシア1号店を開店

2014
タイ1号店を開店

2016
(株) 宮本むなしの発行済み株式を100%取得

2017
重里欣孝が会長に就任
重里政彦が社長に就任

祖業である (株) すし半を (株) 梅の花へ譲渡

ホールディングス体制に移行し社名を「SRSホールディングス (株)」に変更

SRS HOLDINGS

2018
SRSホールディングス (株) 創立50周年

2019
エイチ・ツー・オー リテイリング (株) との資本業務提携の基本合意を締結

2020
(株) 家族亭および (株) サンローリーの発行済み株式を100%取得

家族亭 ひまわり 梅の花うどん

2021
(株) 宮本むなしと (株) サンローリーを吸収合併の方式により合併し、存続会社である (株) 宮本むなしの社名を「M&Sフードサービス (株)」に変更

2022
東京証券取引所の市場区分見直しにより東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行

2023
(株) NISの発行済み株式を100%取得

鶏笑

2024
(株) アドバンテッジパートナーズとの事業提携契約の締結

うまい鮨勘

(株) アミノの発行済み株式を100%取得
(株) シンガの発行済み株式を100%取得

2025
(株) シンガを吸収合併の方式により、存続会社である (株) NISに合併

新中期経営計画「SRS VISION 2030」を発表

(株) すし丼の発行済み株式を100%取得

北海道 札幌

2026
(株) 京樽の発行済み株式を100%取得

京樽

1958年 1店舗
1979年 100店舗
1990年 200店舗
2013年 300店舗
2016年 400店舗
2019年 600店舗
2023年 800店舗

1958 | 1960 | 1970 | 1980 | 1990 | 2000 | 2010 | 2020 | 2026

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSグループ主要ブランド紹介

■和食ファミレス



■**和食さと**

日本一の店舗数を誇る和食ファミリーレストラン
食べ放題メニューの「さとしゃぶ・さとすき・さと式焼肉」が大人気

■グルメ寿司



■**活魚廻転寿司 にぎり長次郎**

高いプロ意識で日々技術の鍛錬を重ね、旨さにこだわるグルメ廻転寿司
旬を感じる厳選食材を使用した新鮮なネタを心をこめてご提供



■**うまい鮨勘**

”うまい”を冠した旬と技を楽しむ寿司をコンセプトに宮城県を中心に展開。
市場で魚を直接競り落とした、上質なネタを気軽に愉しめる



■**回転すし まるくに**

グループの仕入力を活かし、直接ネタを見極めて買い付けた海産物を
職人が握り、リーズナブルな価格でご提供

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSグループ主要ブランド紹介

■グルメ寿司



■**回転すし北海道・すし弁慶**

「新鮮・デカネタ」な寿司をご提供し、山陰地方で高い支持を誇る
日本でも有数の港である境港をはじめ、全国から鮮魚を毎日仕入れている



■**回転寿司みさき**

豊洲市場直送の旬ネタや絶品本まぐろを提供するグルメ寿司
江戸前寿司伝統の熟成酒粕の赤酢を使用した「特製赤シャリ」が特徴

■そば、うどん



■**家族亭**

「あなたのおそばに家族亭」をコンセプトにおいしいそばをご提供
全てのお客様にそば湯もご提供しており最後まで味わえる自慢のそば料理



■**得得**

旨味たっぷり「関西だし」ともちもちとコシのあるうどんをご提供
うどん3玉までは同一価格の提供でお腹も心もまんぷくに

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSグループ主要ブランド紹介

■丼、定食、その他



■**天丼・天ぷら本舗 さん天**

「早い・お得・熱々」がコンセプトの本格天丼・天ぷらをご提供
本物のおいしさを提供する、天丼・天ぷら専門店



■**定食屋 宮本むなし**

「熱いぞ！ひとり飯」がコンセプトで元気にワクワクできる食事をご提供
バラエティ豊かな定食とごはんおかわり自由でまんぷくの幸せを実現



■**かつや**

サクサクやわらかボリューム満点のカツ丼や定食をご提供
手頃な価格で気軽に食べられる“おいしい”カツへのこだわり



■**からやま**

外はカリッと、中はジューシーなおいしい揚げたてのからあげをご提供
揚げたての「からあげ」は一度食べたらやみつきの味わい

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRSグループ主要ブランド紹介

■丼、定食、その他

玉子焼・お出汁 ひまわり HIMAWARI



■玉子焼・お出汁 ひまわり

本場明石の味を再現した名物の玉子焼（明石焼）を主とした食事をご提供
注文ごとに店内でふっくらと焼き上げる職人のこだわり

法善寺 夫婦善哉



■夫婦善哉

創業からの伝統を守り続け、恋愛成就の縁起物として親しまれる大阪名物
一人前を二つのお椀に分けて提供することから「夫婦善哉」と呼ばれる

■中食

中津しょうゆ からあげ専門店 鶏笑



■鶏笑

日本唐揚協会主催の「からあげグランプリ」で最高金賞受賞&金賞連続受賞
大分中津しょうゆを使用した秘伝タレで漬け込んだからあげは絶品

京樽



■京樽

伝統の「茶きん鮨」や上方鮨、江戸前鮨など
老舗の味を、日常で手軽に楽しめる持ち帰りすし専門店

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

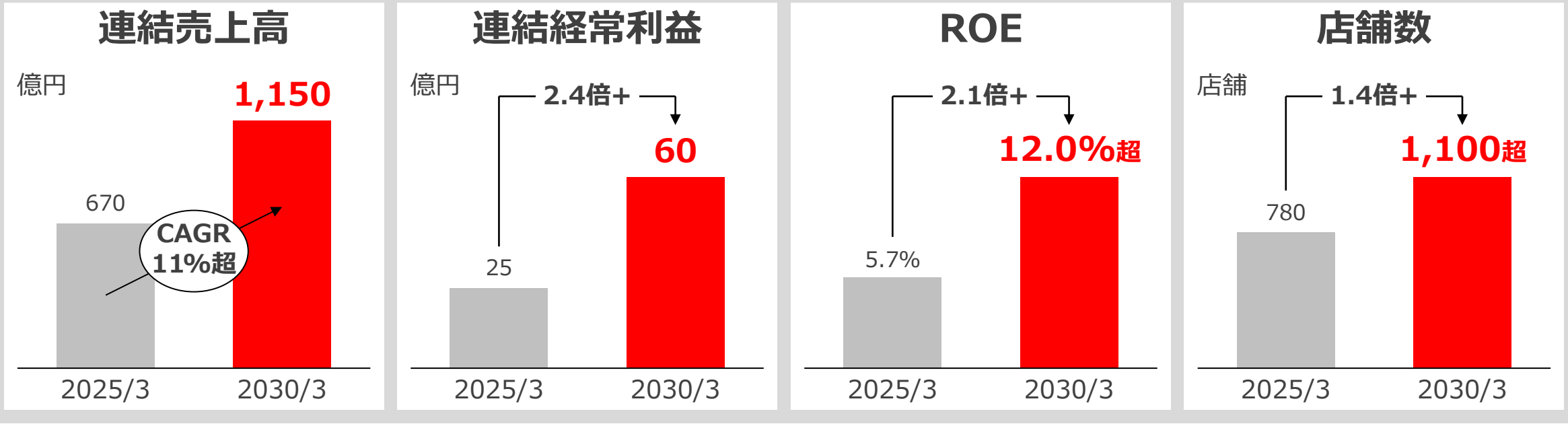
中期経営計画　サマリ

SRS VISION 2030

「心を満たす和食を、もっと身近に、日本中の人々へ。そして世界へ。」
～” Entertain with heartwarming Japanese cuisine, from Japan to the world.”～

手ごろで日常的に楽しめて、親しみやすい和食を日本中へ届け、さらには世界へ挑戦し続けることで、
世界中の人々にとって必要不可欠な食の社会インフラとなることを目指します

2030年3月期　主要目標数値



※上記数値に新規M&A含まず

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

中期経営計画　サマリ

SRS HOLDINGS

＜基本方針＞

既存事業の飛躍的な発展と新たな収益基盤の
確立による和食チェーングループ圧倒的No.１の実現

＜ 重点戦略Ⅰ ＞

“和食さと”の
ナショナルブランド化

＜ 重点戦略Ⅱ ＞

“にぎり長次郎” “うまい鮨勘”
でグルメ寿司チェーン
圧倒的No.1の実現

＜ 重点戦略Ⅲ ＞

第３、第４の収益の柱
となる事業の確立

＜ 重点戦略Ⅳ ＞

売上高1,000億円超を支えるグループ機能の強化とサステナブル経営の推進

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRS VISION 2030　連結数値目標

■ 4つの重点戦略を遂行することで、売上高・利益高の増加、利益率・資本収益性の向上を実現

4つの重点戦略の遂行

重点戦略 Ⅰ

“和食さと”のナショナルブランド化

重点戦略 Ⅱ

“にぎり長次郎” “うまい鮨勘”で
グルメ寿司チェーン圧倒的No.1の実現

重点戦略 Ⅲ

第３、第４の収益の柱となる事業の確立

重点戦略 Ⅳ

売上高1,000億円超を支えるグループ
機能の強化とサステナブル経営の推進

＜既存店＞
収益力向上

＋

＜新店・新事業＞
店舗数増
収益源増

＋

＜固定費比率低減＞
売上高増加による
本社コスト比率減

《財務インパクト》

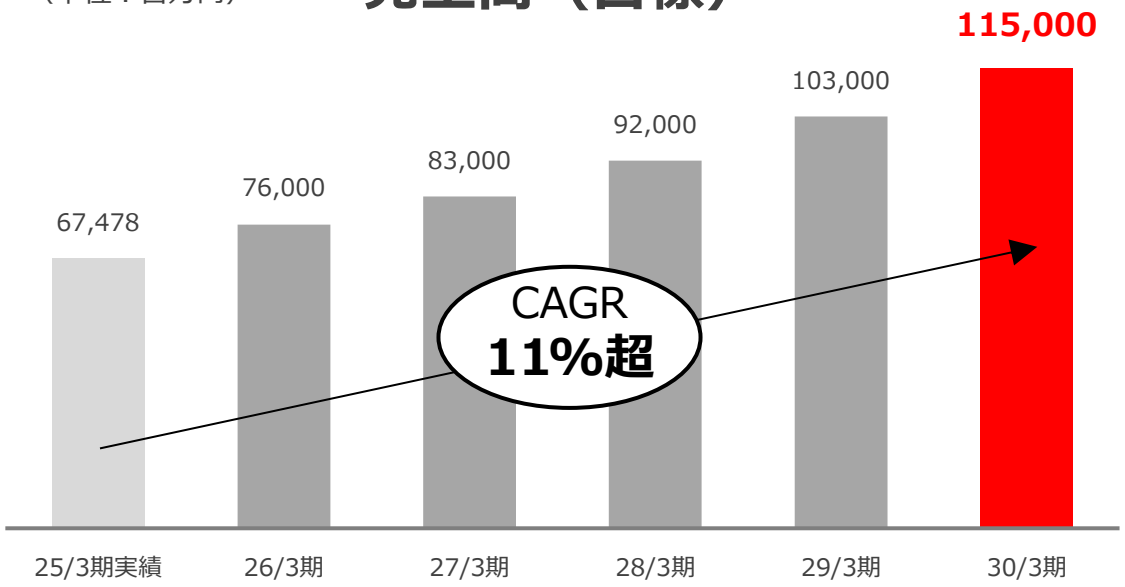
- ✓ 売上高増加
- ✓ 利益高増加
- ✓ 利益率向上
- ✓ 資本収益性向上

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

SRS VISION 2030　連結数値目標

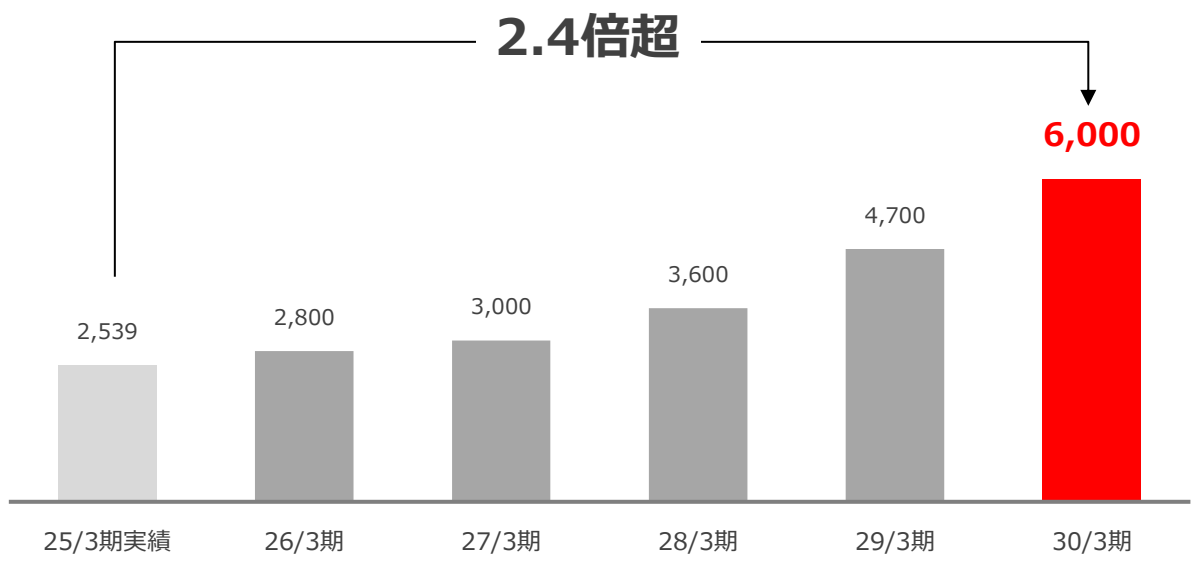
売上高（目標）

（単位：百万円）



経常利益（目標）

（単位：百万円）



■中期経営計画の進捗と定量目標

	25/3期実績	26/3期実績	27/3期目標	28/3期目標	29/3期目標	30/3期目標
売上高(百万円)	67,478	76,421	修正予想　94,300 *16	92,000	103,000	115,000
経常利益(百万円)	2,539	2,994	修正予想　2,400 *16	3,600	4,700	6,000
期末店舗数	780	780	880	970	1,080	1,180
ROE	5.7%	9.9%	8%超	8%超	10%超	12%超
ROIC	6.7%	7.1%	5%超	5%超	5%超	5%超

*16　27/3期の売上高、経常利益目標は、連結業績予想の修正後計画を反映したもの
連結業績予想の修正については当資料P25ご参照

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

・サステナビリティ基本方針

SRSグループは、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」をフィロソフィーとした事業活動を通じて、お客様、従業員、取引先、株主・投資家、地域社会などすべてのステークホルダーと共に成長し、持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいります。

・経営理念とSDGs取り組み重点テーマ



DREAM　パートナーと共に、夢の実現をめざします。

8 働きがいも経済成長も

多様な人々が多様な才能を発揮し活躍できる環境を提供し、生産性の向上と持続可能な社会を実現するための社会基盤の構築を目指します。

ENJOY　カスタマーと共に楽しさを分かち合います。

3 すべての人に健康と福祉を

社会的インフラとして、心のこもったサービスと「安全・安心」な食事を提供し、あらゆる年齢のすべてのお客様に、「安くて」「美味しくて」「楽しく満足できる」食事と空間の提供を目指します。

LOVE☆　コミュニティーを愛し、人びとと共に生きます。

11 住み続けられるまちづくりを

環境保全への取り組みや地域の方々との共生を通じて、コミュニティーと共に発展し、愛し、愛され、親しまれる存在になります。

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

	重点テーマ	2025年度の取り組み内容	評価	対応するSDGs
コーポレートガバナンス	企業統治・企業経営			
	コーポレートガバナンス体制の強化 リスクマネジメントの推進	過半数を社外取締役とする監査等委員会により、監査・監督機能の強化を図る	◎	
		各部門から抽出したリスクの中から、専門委員会にて重要リスクを設定し、取り組みを検討	○	
	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス主管部署によるコンプライアンス研修の実施	○	
		コンプライアンスカードを活用したグループ従業員への内容理解・浸透	◎	
DREAM 夢みる	パートナーと共に、夢の実現を目指します。			
	働きやすい 職場環境づくり	7日間連続休暇の取得推進	○	  
		年次有給休暇の取得促進	△	
		育児支援として「親子割」制度を継続	◎	
		社会保険適用パート従業員の加入拡大	○	
		残業時間管理の徹底	○	
		育児時短勤務制度の拡充	○	
		ハラスメントの防止に関するルールの整備、研修会の実施継続	◎	
		カスタマーハラスメント対応指針の策定・研修の実施	○	
	多様な人材登用・育成	定年年齢を65歳に延長、再雇用上限年齢を75歳に延長	◎	  
		短時間正社員制度の拡充、研修の実施	◎	
		新入社員に対する従業員満足度アンケートの実施、社員の定着をサポート	○	
		グローバル人材の積極的な採用と勤務をサポート	◎	
		多様な人材育成のための研修制度の充実と継続	◎	

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

	重点テーマ	2025年度の取り組み内容	評価	対応するSDGs
ENJOY 楽しむ	カスタマーと共に楽しさを分かち合います。			
	安全・安心へのこだわり	年間を通じた食中毒対策の継続	◎	
		従業員の体調把握の感度を高めた、ノロウイルス検査の実施	◎	
		手指などからの食品汚染対策の強化（手洗いに加え、手袋着用による対策）	○	
		食品の製造・流通、店舗での取り扱いなど各段階で、菌数検査によるモニタリングの継続（重点は、生食食材とテイクアウト商品）	◎	
		当社基準に基づいた原材料の品質管理徹底	◎	
		従業員衛生教育の継続とHACCPに沿った店舗衛生管理の徹底による安全・安心の確保	○	
		行政の要請事項への協力、感染症防止対策の徹底	◎	
	安全・安心へのアプローチ	WEBサイトでの原産地・カロリー・塩分・アレルギー情報などの表示	◎	

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

	重点テーマ	2025年度の取り組み内容	評価	対応するSDGs
LOVE☆愛する	コミュニティーを愛し、人びとと共に生きます。			
	安全・安心へのこだわり	SDD（飲酒運転撲滅運動）の継続およびハンドルキーパー運動の推進	◎	
		災害帰宅支援ステーションへの協力を継続	◎	
		キッザニア甲子園にて「すし屋」パビリオンを通じて食育活動の推進	◎	
		各種募金運動（セーブ・ザ・チルドレンへの募金、ジェフ愛の募金、CIESF（シーセフ）への募金）への協力継続	◎	
		1歳未満のお子さまへの離乳食の無料提供を実施	○	
	ステークホルダーとのコミュニケーションの充実	IR（機関投資家、アナリスト向け）決算説明会の開催	○	
		コーポレートレポートの発行およびWebサイトでサステナビリティ情報を開示	◎	
	廃棄物削減への取り組み	mottECO（モッテコ）普及活動の推進	◎	
		（目標）食品廃棄物の再生利用等実施率53%	◎	
		各自治体が実施する「食べ切りキャンペーン」への参加	○	
	環境保全への取り組み	（目標）CO_2排出量Scope1、2における「エネルギー消費原単位」の前年度比1%削減	◎	
		廃食用油のバイオ燃料化	◎	

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

食品ロス削減の取り組み

○mottECO（モッテコ）とは

・2020年10月に環境省により開催されたNewドギーバッグアイデアコンテストで、利用者とお店の相互理解のもとで行われる飲食店での食べ残しの持ち帰り行為の、新たな名称として選定

・名称には「もっとエコ」「持って帰ろう」というメッセージが込められている



mottECO容器

○mottECO（モッテコ）の推進活動

・「食品ロス・食品廃棄物削減」という社会課題解決を目指し、普及を担う「mottECO普及コンソーシアム」は、外食・ホテル・自治体・大学など44団体（2026年7月1日時点）が集う産官学民の連携体へと拡大

・SRSグループは2022年から「和食さと」全店で導入し、2025年11月には「家族亭」「得得」「とくとく」へと利用可能店舗を拡大

・「和食さと」のmottECO導入は、京都市の「ごみ減量＆資源循環のための指針・事例集」に掲載

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 出店店舗



2026年4月1日開店（タイ）
さと丼　フューチャーパークランシット店



2026年5月1日開店（タイ）
さと丼　セントラルパタヤビーチ店



2026年5月22日開店（広島県）
和食さと　広島観音新町店



2026年5月26日開店（愛知県）
鶏笑　熱田一番店



2026年5月29日開店（滋賀県）
にぎり長次郎　長浜店



2026年6月1日開店（タイ）
さと丼　セントラルプラザラマ3店

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 出店店舗



2026年6月26日開店（奈良県）
かつや　奈良天理店



2026年6月29日開店（埼玉県）
鶏笑　川口前川店



2026年7月8日開店（インドネシア）
和食さとEat&Go ITC BSD店



2026年7月14日開店（兵庫県）
得得 魚住店



2026年7月24日開店（京都府）
かつや 京都北山通店



2026年7月30日開店（大阪府）
かつや　大阪弁天町店

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 出店店舗



2026年7月30日開店（岐阜県）
にぎり長次郎 岐阜城東通店



2026年8月1日開店（タイ）
さと丼 セントラルマリーナパタヤ店



2026年8月1日開店（奈良県）
得得　富雄南店



2026年8月6日開店（大阪府）
得得　北巽店



2026年9月1日開店（タイ）
さと丼 セントラルナコンパトム店



2026年9月1日開店（タイ）
さと丼 セントラルプラザサラヤ店

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

27/3期 出店店舗



2026年9月14日開店（石川県）
鶏笑 野々市店



2026年9月17日開店（埼玉県）
鶏笑　伊奈店



2026年9月18日開店（群馬県）
うまい鮨勘ゆとろぎ 太田飯塚店



2026年9月25日開店（兵庫県）
からやま 伊丹野間店



2026年9月25日開店（タイ）
さと丼 セントラルウエストゲート店

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

IR情報提供メディアのご案内

■公式HP＜IRサイト＞

株主様や投資家の皆様に向けた情報を提供
月次情報や各種IR資料もIRサイトに掲載
https://srsholdings.com/pages/ir

<English Page>
https://srsholdings.com/en/pages/ir

■Shared Research

スポンサードリサーチレポートとして
IRに関する様々な詳細情報を掲載
https://sharedresearch.jp/ja/companies/8163

<English Page>
https://sharedresearch.jp/en/companies/8163

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

お問い合わせ先

SRSホールディングス株式会社
IR・広報部（佐々木、神谷）

TEL：06-7410-5067
メール：srsir@srsholdings.com

※メールアドレスが変更になりました

当社が開示する当社グループの計画、見積もり、予測、予想、戦略、方針、目標その他の将来情報については、開示時点における当社の判断または仮定に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約、または保証するものではありません。実際の当社グループの業績等の結果は、様々なリスクや不確定要因により、開示情報の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります
本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。
また、本資料の利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

© SRS HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.